

I D問答～新たに始まった、我(ら?)が「精神こころの放浪たび」?!～

作：I & D

①「老い」と向き合う?!まずは、そこから?!

I：さて、これまで私(達?)は、「東シナ海眺望記」、そして、「じのん逍遥記」ということで、それこそ「徒然なるままに」、折々の想いや情景を、下手な?「短歌」と、最後は、これまた下手な!「写真」も添えながら、それぞれ「エッセイ」として綴ってきました!これからは、この「I D問答」という形で、それらを引き継いでいこうと思っていますが、Dさん、いかがですか?

D：まあ、一つの形(スタンス)で何年も続けていますと、飽きる?と言いますか、馴れ合いになる?と言いますか、しかも逆に、書かなければいけないから、取り敢えずは仕上げる?そういうことが多くなってきていたようにも思います?!売れっ子の?作家であれば、それはそれで仕方がないのでしょうか、やはりそれは、一体誰のために、何のために書いているのか?そこら辺は、常に大事にしていかなければいけない!そうは思っていますよ!つまり、そこら辺が、少し薄れてきていた?!

I：要は、俗に言う「マンネリ化」が進行してきたということでしょうか、そう言えば、この二人のコンビ?も、そういう意味では、かなり怪しい?ものになってきていたのかもしれないですね?実は、そういうこともあり、今回、新たな刺激を求めて?このような「問答形式」を考えたのですが…

D：まあ、その形式については、例の若者達と一緒にやってきた「岳陽」の記事作成のところで、既に始めていたわけですから、特に違和感はありませんが、改めて誰のために、何のために喋る(書く)のかという点では、新たなスタートということにはなるのでしょうか?!

I：実際は、まさしくそういうことになるのですが、結局は、自分(達?)のために喋って(書いて)いるということは事実ですので、今回は、改めてそれを前面に出し、形の上では慣れた二人三脚?という方法で、私達?の「精神こころの放浪たび」を始めていければよいのではないのでしょうか?

D：まあ、その二人三脚については、これからは、かなり覚束ない?足取りとはなるでしょうが、とにかく、そこ(底?)にあるスタンスは、「私達?は、それなりに?年を取ってしまった!そこで、何を思い、何をしなければいけないか?それを考える?」、結局は、そういうことになるのでしょうか?今、世間(世界)では、「新型コロナウイルス」の災禍が大変な(信じられない?)状況となっていますが、私自身は、そのように思っています!

I：それはまさに、私達?には、「自らの老い」との向き合い方が大きな課題(テーマ?)となるということでしょうか、そういうことも含めて、これから新たに、あなたと私の二人で?可能な限りの「問答」を続けていければ、それはそれでいいということですよ?!

D：多少複雑ですが、まさにそういうことです!ただ、まだまだ私達?には、「自らの老い」を、必要以上に悲観的に捉える必要はないのですが、これまで、ここ沖縄の地で様々なことを考え、語り(書き)、そして、やれることを、自分達?なりにやってはきましたが、それなりの限界や諦め?を自覚して、これからは生きていかなければいけない?そういう風にも、感じているということですか?!

I：そういう言い方は、これまでのDさんらしくない?ようにも思いますが、ある意味よく分かります!ですから、私の方も、それに呼応して(納得して?)、これからの問答を展開していくことにしたいと思います!改めて、よろしく!

D：否、こちらの方こそ、改めてよろしく!これを、これから(も?)読んでいただく人達には、少々湿っぽい出だしとなったようにも思いますが、とにかく、これが、今の私達?の偽らざる(素直な?)心境であり、立ち位置であるということになります!それを、是非ご了解の上、ご笑読いただくということになります。出来れば、ここで問答するテーマや話題等を予めリクエストしていただければ、単なる「老者の対談(つぶやき?)」にはならないで済むかもしれません! (つづく)